

渋谷区まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に関するパブリックコメント実施結果

- 1 募集期間 : 平成28年3月1日から平成28年3月15日まで
- 2 募集方法 : 郵送、持参、ファックスまたは電子メール
- 3 応募状況 : 7名
- 4 意見総数 : 27件
- 5 周知方法 : 区ニュース(3月1日号)及び区ホームページ

基本目標1 にぎわいを創出する魅力あるまちづくりの推進

渋谷駅周辺地域の基盤整備について

	意見の内容(要旨)	区の考え方
1	再開発される駅周辺はマグネットとしての力を発揮し、外輪エリアにシャワー効果をしっかりと生み出していただきたいのです。その為の方策として外輪に人の集まる拠点の創出をご提案いたします。	P40の「渋谷駅周辺地域の基盤整備」に記載しておりますように、にぎわいと回遊のある安全・安心で歩いて楽しい都市空間の形成を目指してまいります。そのためには、ご提案のとおり、渋谷駅の周辺地域にも、魅力ある拠点施設が整備されることが重要と考えます。
2	駅構内のバリアフリーを充実し、特に乗り継ぎのバリアフリー化に重点を置いてほしい。	駅構内のバリアフリー化については、「渋谷駅中心地区まちづくり指針2010」において、バリアフリー化による鉄道利用・乗り換え利便性の向上を謳っており、方針を定めて取り組んでまいりました。今後も、この方針に沿って取り組んでまいります。

オリンピック・パラリンピックを契機とした渋谷区の発展について

	意見の内容(要旨)	区の考え方
3	外国人観光客を受け入れるため、渋谷区国家戦略特別区域外国人滞在施設運営事業条例を施行するようお願い致します。(特区民泊)	国家戦略特区の活用による民泊とは別に、現在、厚生労働省と観光庁が、民泊サービスのあり方に関する検討会を立ち上げ、検討を進めております。その動向も含め、地域住民の安全安心を守るとともに、利用者と宿泊事業者双方に有益な事業に発展するような枠組みの構築を目指し、研究してまいります。
4	国際都市としてユニバーサルデザインに対応した自転車走行空間整備、自転車ネットワークの整備をお願い致します。	自転車ネットワークの整備につきましては、平成27年4月に「渋谷区自転車通行環境整備計画」を策定し、整備を進めております。この計画は国が策定いたしました「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」等を踏まえ、策定しているものです。 また、P41に記載しておりますように、オリンピック・パラリンピック関連事業において、自転車走行空間整備を行うこととしております。

創業支援制度・融資の充実について

	意見の内容(要旨)	区の考え方
5	商店会は地域コミュニティを支える重要な役割を果たしている一方で、構成員である各企業は小規模企業が多く、金融面での支援も重要な課題であることから、区の制度融資の拡充とともに、小規模企業向けの融資制度に対する利子補給給置を講じることも検討いただきたい。	現在、中小企業事業資金融資制度を設けており、利子補給措置を実施しております。 また、この制度の中に、創業支援資金の融資制度もございますので、ご利用いただけます。
6	渋谷区創業支援事業の機能を活用し、セミナーの複数回受講等による「特定創業支援事業」修了認定者に対して、「創業支援事業者」である民間金融機関などからの借入金の利子補給措置を講じることも検討いただきたい。	
7	渋谷区に対するブランドイメージから、区内で創業を希望する方も多い反面、事務所・店舗の賃借料等の高さから区内での創業を断念するケースも見受けられるため、かかる費用の補助について検討が必要ではないか。	

基本目標2 産みやすく、育てやすく、預けやすいまち渋谷

保育施設の整備について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
8	区立保育園の存続、開設、拡充を実行してほしい。とくに雇用は区の正職員としてほしい。	P45に記載しておりますように、これまでも保育施設の整備に取り組んでまいりました。今後の計画においても、定員拡大を図ってまいります。また、今後も保育施設の整備につきましては、民間の事業者の活用も含めて、様々な手法を活用し、安全・安心な保育環境を整備してまいります。保育設備につきましても、施設の改修時等を捉え、充実してまいります。
9	保育設備の一層の充実も必要。	

切れ目のない子育て支援の構築について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
10	私立幼稚園の就園奨励費補助金を見てみると年の差兄弟は育てにくく、産みにくい、預けにくい環境にあります。第三子の保育料免除、第一子、第二子が同時に就園している場合の免除もわかりますが、納税額(所得)が多くても3歳差なら私立幼稚園の就園奨励費補助金が得られ、小学3年生以上の兄弟をもつ家庭は第一子扱いになってしまうのには疑問と不公平さを持ちます。	貴重なご意見として受け止め、今後の検討課題といたします。

子どもの生活向上のための居場所づくり

	意見の内容（要旨）	区の考え方
11	子どもの貧困対策として、補助金支給とともに、無料塾の開設などにより子どもたちの居場所づくりなど、教育を重視する政策を。	区としては、子ども食堂のような居場所つくる活動を、単なる貧困対策としてだけでなく、子どもたちの健全育成にも配慮したトータルな支援として、食事の提供のみならず、学習支援や親の養育支援なども実施したいと考えております。

その他

	意見の内容（要旨）	区の考え方
12	中高生の子どもにも手厚い医療補助や教育費補助(給食の無償化・高校生までの医療費無償化等)を。	現在は、中学生までの医療費を無料としております。また、給食費については、就学援助を行っているご家庭では無料となっております。貧困の環境にある子どもたちに対しては、医療費を含め、様々な観点から、総合的に判断してまいります。
13	保育施設のみならず、小・中学校施設を維持管理し、駅周辺地域の住宅地に小学校施設が復活するようお願い致します。	地域の年少人口の推移を踏まえて、今後の学校施設の適切なあり方について、検討してまいります。

基本目標3 ダイバーシティ・インクルージョンの推進

地域における支え合い・こころのバリアフリーについて

	意見の内容（要旨）	区の考え方
14	「子どもの居場所づくり」や障害者、高齢者等の社会活動への参加促進など、社会的課題の解決に取り組むNPO等の事業者に対し、補助金等の情報提供・行政手続きや借入を含めた経営アドバイスをワンストップで行い、円滑な事業運営につなげるために、NPO関係者や、行政書士等の士業、民間金融機関等を交えた、区独自のサポートネットワークを構築することも検討いただきたい。	P51に記載しておりますように、公民連携(PPP)の推進が課題とされる中、特に、NPO等との連携を深めることは、区の様々な施策の実現にとって重要であると認識しています。NPO等との連携を図るためのネットワーク構築については、障害者支援においては順次実施しています。今後、他の分野への拡充も含め、取り組みを進めてまいります。
15	区民等への一層の周知・意識啓発を図る観点から、女性の創業支援者や女性経営者・管理職の活躍をテーマにしたセミナー・シンポジウム、継続的なグループ勉強会を開催することも検討いただきたい。	これまでも渋谷男女平等・ダイバーシティセンターにおいて、女性の活躍支援のための講座等を開催してまいりました。ご提案の内容についても、条例や女性活躍推進法等の趣旨も踏まえながら、今後、開催について検討させていただきます。

障害者等の地域生活支援策の充実について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
16	地下鉄日比谷線のエスカレーター・エスカレーターの完備が必要	渋谷区高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において、高齢者が安全に暮らすことができる生活環境を実現するため、公共施設や歩道のバリアフリー化を図る方向性を定めて、取り組んでおります。また、P53に記載しておりますように、障害者等にやさしいまちづくりを推進するため、駅のバリアフリー化については、これからも取り組んでまいります。個別のご要望については、ご意見として承ります。
17	駅のバリアフリー化早急にしてほしい。地下鉄広尾駅の港区側は工事がすすんでいます、広尾商店会側はまだです。	
18	天現寺の交差点、渋谷橋の交差点などの歩道橋は、高齢者、障がい者に優しいと言えません。今のうちに改善を。	

離職者対策事業について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
19	若い世代の正規雇用労働者の割合増、女性の就業率アップにつなげ、働きやすいまちづくりを。	これまでも渋谷就労支援センターしぐやビッテにおいて、若年者から高齢者までの就職活動を支援してまいりました。今後も、ハローワーク渋谷、マザーズハローワーク東京、東京わかものハローワークとも連携しながら、取り組んでまいります。

社会活動への参加促進について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
20	健康で働く意欲もあり知識と経験を持ち有効活用できる高齢者も沢山います。そのような人々をいかに有効活用していくのが我が区に於いても今求められているのだと思います。高齢者が真に生かされる社会の実現に向かって長期的視点に立った創生戦略の策定をお願いいたします。	現在区が推進しております地域包括ケアシステムの構築においても、知識と経験を持ち、意欲のある高齢者の方々に、地域を支える活動に携わっていただくことが必要とされています。また、その活動により生きがいを持って生活していただくことで、健康の維持にもつなげていくことが大切であると考えております。基本構想等審議会においても、同様の意見が出ておりますので、今後の区の施策に、お考えを活かしてまいります。

素案における具体的施策以外についてのご意見

まちのコミュニティづくりについて

	意見の内容（要旨）	区の考え方
21	防災や福祉、その他行政との関わりなど、コミュニティにおける地域力は必要不可欠です。その為に、行政と区民が知恵を出し合う為に話し合う場を持つことは如何でしょうか。そして、スタート地点から共に考え協働することが出来る方法を構築してゆく事をご提案させていただきます。	第1章の4策定の方針にもありますように、現在渋谷区では、基本構想の改定と長期基本計画の策定を行っているところであり、その審議の中でも、地域との連携によるまちづくりの必要性について、ご意見をいただいているところでございます。 また、防災や福祉におきましても、共助という概念が重要であることが、審議会において、共通理解となってきております。
22	渋谷区認定まちづくり協議会が現在駅を中心に5つあります。渋谷区としてまちづくり協議会を今後どのようにマネジメントしていくのか記載がございません。	今後の基本構想等の改定の中で方向性が明らかになりましたら、区の施策に盛り込むことを検討いたします。

人口構造の状況を踏まえた施策について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
23	「生産年齢人口の割合が大きい」のに「少子化」ということは独身者が多いということです。「職住近接区」として、若者の出産・子育てを応援し、渋谷に住み続けられる施策が必要です。 それには、単独世帯用住宅ではなく、家庭用の安価な住宅を提供（区営など）、あるいは補助金による支援などもあれば住み続けられます。	現在、子育て世代向けの住宅も含めた区営住宅の整備を進めております。今後、より効果的な施策の実現に向けて、検討を進めてまいります。

高齢者に対する施策について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
24	専門的知識をもつ医療、介護者を増やして自立して生活できる期間を長くすること、安心して老後を託せる施設をつくることを盛り込んでほしい。	渋谷区高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において、住み慣れた地域で安心して住み続けられるようにするため、医療と介護の連携を図る方向性を定めて、取り組んでおります。 また、旧本町東小学校跡地に特別養護老人ホームを含む複合施設の建設も進めております。

地域と来訪者の交流拠点の創設について

	意見の内容（要旨）	区の考え方
25	「まちなかカフェ」をまちづくりの広くて大きな視点でとらえたら考え方も変わってくるのではないだろうか。都会のライフスタイルを楽しむ大人やアクティブシニアに、もっともっと渋谷を楽しんで頂くための新しい発想の転換と視点が大切な事を提案いたします。	ご意見については、まちの回遊性を高めるための一つの手法であり、貴重なご提案として、今後の検討課題とさせていただきます。

その他

	意見の内容（要旨）	区の考え方
26	渋谷区上空を高度600mで飛行することが着々と進行しているようですが、渋谷区のまちづくりに大いに関係することなので、一言加えるべきことではないか。	区としては、首都圏の国際競争力を強化するための羽田空港の機能強化の必要性は認識していますが、新たな飛行経路の設定に伴って生じる区民への騒音や安全性についての不安の声や意見については、引き続き、その内容を国に対して適切に伝えてまいります。
27	渋谷駅周辺地域のまちづくりと区役所、超高層マンションが坂の上に建つ景色も、模型を作成して設置することで、どのようなものか見てみたい。	しゅがや区ニュース平成27年2月27日号渋谷区庁舎建替え特集号において、新庁舎のイメージ図等を示しております。模型作成については、今後の検討課題とさせていただきます。